



10月17、18日に開催された第28回刃物まつりに、今年も姉妹都市の北海道・積丹町訪問団(8人)が参加しました。積丹町の訪問団の参加は、今年で12回目となり、『積丹町の北海道物産市場』の出店を楽しみに会場を訪れるお客さんもあり、長年にわたる交流の成果が実を結んでいます。会場では、本場北海道の秋の味覚『鮭のチャンチャン焼き』の実演販売や、積丹町ブランドのカボチャやじゃがいも、積丹町海産物の珍味などの販売が行われ、大勢のお客さんでにぎわいました。

また、今年3月に姉妹都市締結を行った福井県あわら市訪問団(7人)が、今回初めて刃物まつりに参加し、出店した『あわら湯けむり市』では、越のルビー(ミディトマト)や越前柿などの販売が行われました。初参加ながら会場で打ったばかりの越前そばには行列ができ、新しい姉妹都市の風が吹いていました。

(香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会)

市役所より 人事異動のお知らせ

10月1日付けで、次のとおり人事異動がありました。

(一)内は旧所属 掲載は、課長補佐級以上。

【市長部局】

▽財政課庁舎建設担当参事
Ⅱ前田哲雄(総務課庁舎建設担当参事)

▽総務課課長補佐Ⅱ黍原美貴子(総務課職員係長)

▽財政課課長補佐Ⅱ川田学(財政課財政係長)

▽防災対策課課長補佐Ⅱ猪野高廣(収納管理課収納管理係長)

▽保険課課長補佐Ⅱ佐竹教人(保険課課長補佐兼介護保険係長)

▽税務課課長補佐Ⅱ高橋由美(幼保支援課長補佐)

▽地籍調査課課長補佐Ⅱ近藤浩伸(物部支所地域振興課市民生活班総務企画係長)

▽香北支所地域振興課教育班長Ⅱ今田博明(総務課長補佐)

▽出納室長Ⅱ野島恵一(財政課長補佐)

【教育委員会】

▽幼保支援課長補佐Ⅱ土方聖子(税務課長補佐)

【9月30日付け退職者】

▽中村真智子(香北支所地域振興課教育班長)

【問い合わせ先】

総務課 ☎ 53-3112



【短歌】
楠瀬 兵五郎 選

自販機が防犯灯の役目する国道一九五号奥へおくへと
きびの実は一日のうちに消え失せぬ一つか二つ残せよカラス
縁台に母と並びて食べたるかき氷の蜜もイチゴでありにき
畑土に滴る汗の落ちたれば汗は雲にもならむかと思ふ
鳥害か病虫害かぶどう粒一つだにあらず袋のみなり
たをやかに日焼け止め塗るうなじより少女ゆつくり脱皮してゆく
其の昔必ずなしし土用干し今はあれこれの習ひ失ふ
久々にひと日の旅をカラストで下界の暑さしばし忘れる
賜りし無花果もつとたべたいと困らせし日よ母も若かり
一刻の間を惜しむかに生姜とる人らまつ赤な残照浴びて
「二」のみにこだわって生くる人のあり姑息な迄のうそを交えて
ひたすらに農協の職に励みたる前途有為の文ちゃんのみ罷る
遙かなる祖を迎ふる盆の月夜秋めく風はわれをつつめり
故郷の蕎麦打つ棒のくるくると亡き母の仕草眼の前に見ゆ
適量の施肥に満作の昨年きぞの早稲指示たしかにて夫は在りしよ
週に二度逢える喜び二十名のデイケアの友の名ノートに記す
耕地整備一枚九反田広がるに老いて委託の羽目となるわれ
夏休み長生きしてねと書くひ孫嬉し涙で抱きしめる我
五台山緑の木々におおわれて牧野博士のほほえむ館
もう一度盛装をして若づくり思い出に残る写真とる日は
日記かき花を育てて歌を詠み八十の坂を登りあるわれ
サルスベリサルスベリの古木高々くれなるの花房ゆれて一陣の風

大石 綏子
門田 明子
公文 正子
高橋 章
武内 弘子
竹村 咲子
出原 久子
林田 幸子
古川 安子
吉本 悦子
公文 千恵
小松 隆之
山崎 貴子
西尾 玉喜
大岸由起子
門田 喜美
高野 和一
鍵山 春子
有沢 泰子
小野寺朱実
森岡 雛子
坂上のぶ子

電線へと伸ばすゴンドラに人のゐて思はず俯うつむ二階の窓に
笹つたふ胡瓜の蔓の生気なく蔓先ゆうらり宙をさまよふ
噴水に壺いだき立つ女神像横断歩道渡り入り来て
荷を肩に危橋を渡るは鉄斎の貽笑墨戯の軽妙の筆
立つち―して一歩あるいて這っている二歩あるいたと喜ぶ吾ら
初なりの桃の実一つ二〇〇g虫食べくれし雀はいづこ
静かにと言はれし外科の病室に老いの饒舌きりなくつつく
『ボウフラが成ちゆうにかわらん』言いしこと今でも笑う愛知の叔母は
湿度高くメガネくもらせて草刈ればばやけて見える切りしヘビの腹
愛でらることなく終りし月下美人詫びつつ摘みて根元におきぬ
朝早く窓に車の見え初めて小犬ひきゆく少女が通る
黄昏れて梅雨も明けたと聞きたれば今日の夕顔ことにすがしき
かばちやくつ実を付け瓜は八つ雑草の中に熟れておどろく
いみじくも「風鈴横丁」と名付けたる小さな街よ榮えゆくべし
他人事と言えぬ齢を旧き友と話す茶房に秋雨やまず
齒のつやも失せつつありて友よはや命の終り近づくかああ
初成りの西瓜の味は最高と曾孫は言いて種をとばしぬ
絵手紙は人生楽笑と描きあげて米寿なる人を祝いとなせり
己が身を支ふる命まならず心はわがもの明るく生きむ
一郎の笑顔に今日も励まされあら皮を大事に取つて渋皮煮
テーブルに湯飲み影置き蟻あひも出づ月の夕べにオカリナを聞く
曼珠紗華薙ぎ倒す者もなくなれり朝々の径迎へくるとも
※俳句・短歌の応募は、企画課内広報委員会事務局まで。投稿方法は自由
です。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

小松もとみ
都築 初代
佐竹 玲子
岡林 華伝
伊藤 清子
古谷 由美
山崎かつみ
宮地 亀好
佐々木真里
竹村 稔美
森 晶子
山崎 緑
横田直加子
大石紗智子
尾立 かよ
小原 子川
松中 賀代
谷内 務
鍵山 みつ
法光院俊子
町 耿子
楠瀬兵五郎